

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**
 1. 電力の安定供給
 2. 地球環境への貢献
 3. 適正な利益の確保
 4. 地域社会への貢献
- 【行動計画】**
 ①水力発電所のリニューアル
 ②施設の適切な維持管理
 ③小水力発電所の新規開発検討
 ④小水力発電に係る技術支援
 ⑤再生可能エネルギーの技術開発に向けた検討
 ⑥電力システム改革後の対応
 ⑦利益の活用検討
 ⑧FIT制度終了後の施設のあり方検討

【成果指標】

指標	目標と実績 (R3年4月～9月)			
	達成年度	目標値	実績	単位
供給電力量				
☆ 全発電計	毎年度 (目標値はR3上期)	62,863	66,068	MWh
(水力発電)		46,770	49,570	MWh
(風力発電)		10,910	11,140	MWh
(太陽光発電)		5,183	5,358	MWh
再生可能エネルギーを利用した発電によるCO2削減量				
☆ 全発電計	毎年度 (目標値はR3上期)	35,300	37,062	トン
(水力発電)		26,200	27,808	トン
(風力発電)		6,200	6,249	トン
(太陽光発電)		2,900	3,005	トン
年間故障停止時間				
☆ (水力発電)	毎年度 (目標値はR3上期)	110	580	時間
☆ (風力発電)		4,500	1,280	時間
☆ (太陽光発電)		125	0	時間

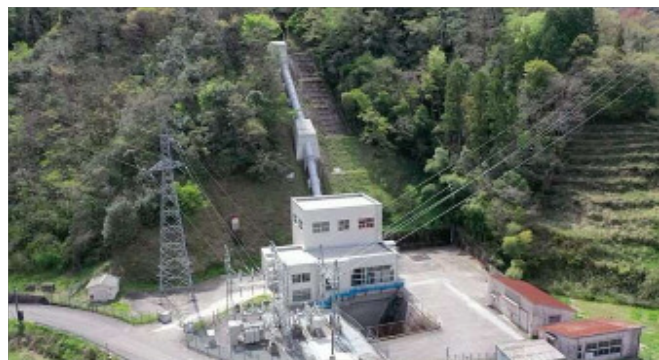
☆: 毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」: 課題

- ①水力発電所のリニューアル**
 老朽化した水力発電所において、今後も安定した発電が可能となるよう順次再整備(リニューアル)
○東部・西部事務所と本局の連携を密にしながら、工事間の調整や工程・現場管理を実施
 (工事工程会議は月1回、本局、事務所及び受注者が出席)
 ⇒ 工事完了により、八戸川第一発電所1号機はR3.4.2、飯梨川第一発電所はR3.6.2に運転再開
 ⇒ 三隅川発電所は、R5.4.2運転開始に向けてスケジュールどおり進捗
 ⇒ 飯梨川第三発電所は、R3.9.13から現地工事着手
○導水路変状再発防止対策検討委員会を設置
 ⇒ 飯梨川第一発電所導水路変状については、R3.6.1に対策完了
 ⇒ 委員会(4回)で再発防止策を決定
○第4次リニューアルの事業化
 ⇒ 勝地発電所は、R3.4.12に工事契約締結
 ○ 労災事故防止・安全対策
 ⇒ 労災事故防止のため、工事業者への指導及び安全管理を徹底
- ②施設の適切な維持管理**
 故障停止時間の縮減に向けた取組の強化
○迅速な故障復旧対応
 ⇒ 7月の雷害で故障した三成発電所では、数か月の納期がかかる修理部品をリニューアル工事中の三隅川発電所の部品及び木都賀ダムの予備品を使用して早期復旧
 ⇒ 高野山風力発電所では、長期間の納期を要す高速軸ベアリング等を予備品として保管し、故障復旧を迅速化
○故障停止時間の低減
 ⇒ 勝地発電所の取水ロケットを電動化し、出水時に遠隔操作により閉鎖することで導水路への土砂流入を未然防止
 ・ 増水時は現地(導水路)確認できず、運転再開が遅延
 ○ 高野山風力発電所の予防保全
 ⇒ 経年劣化による部品の故障について、使用実績から部品の交換周期を定め、故障発生前に交換することにより予防保全を実施し、稼働率が向上
○点検時の安全確保、管理の高度化
 ⇒ ドローンの活用により、ダム湖や水圧鉄管等の巡視において、これまでと異なる視点での点検が可能
 ⇒ 内視鏡の活用により、水車内部等の目視確認できなかった箇所の点検が可能
○スマート保安技術を用いた業務改善
 ・ 改善内容の検討
- ③小水力発電所の新規開発検討**
○過去に事業化を断念した地点の再調査
 ⇒ ノンファーム型接続の開始により、1地点で再調査実施中
 ⇒ 過去に開発断念した候補地点についても再調査を開始
- ④小水力発電に係る技術支援**
 ○ これまでに培った知識や経験を活かし、県内市町村等の小水力発電の新規開発、リニューアル及び維持管理について助言支援(これまでに11件の支援を実施)
 ⇒ 新たに1団体の支援を決定
- ⑤再生可能エネルギーの技術開発に向けた検討**
 ○ 先駆的な実証実験事業等、技術開発に資する事業について情報収集
 ⇒ 県内や国、他県の情報を収集(水素エネルギー・バイオマスエネルギー)
- ⑥電力システム改革後の対応**
 ○ 公営電気経営者会議等を通じて情報収集
- ⑦利益の活用検討**
 ○ 水力発電所リニューアル完了後の固定価格買取制度(FIT)による利益の活用を検討
 ⇒ 利益の一部を一般会計に繰り出し、地域振興部が再生可能エネルギー利活用総合推進事業(再生可能エネルギー設備等導入支援事業)を実施(R3上期:17市町に対して支援決定)
- ⑧FIT制度終了後の施設のあり方検討**
 ○ FIT終了後の施設の状況について電源種別毎に検討
 ・ 関係機関を通じて、市場動向、脱炭素情勢等の情報を収集

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

- ・リニューアル工事の着実な進捗管理
- ・再発防止策の徹底
- ・工事の安全管理を徹底し、継続して注意喚起する
- ・三隅川発電所の部品は、運転開始までに確保見込
- ・継続して実施
- ・迅速な運転再開のため、現地確認用カメラを設置
- ・継続して実施
- ・活用範囲の拡大
- ・スマート保安WGを設置し、導入箇所や内容を検討
- ・事業化の可能性を再検討
- ・継続して実施
- ・情報収集活動を継続
- ・情報収集活動を継続
- ・利益の活用方法については知事部局と検討
- ・情報収集活動を継続



①リニューアル完了(八戸川第一発電所1号機)



②導水路変状補修完了(飯梨川第一発電所)



③雷害を受けた基盤(三成発電所)



④ブレード点検(高野山風力発電所)

企業局経営計画 令和3年度上期取組状況

工業用水道事業

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**
 1. 工業用水の安定供給
 2. 経営の改善
- 【行動計画】**
 ①施設の長寿命化
 ②施設の適切な維持管理
 ③新規需要の開拓
 ④経費の縮減

【成果指標】

指標	目標と実績			
	達成年度	目標値	実績	単位
給水制限日数				
☆(飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆(江の川)		0	0	日
売水率				
(飯梨川)	R7	60	55.0	%
(江の川)		56	59.5	%
売水先の数				
(飯梨川)	R7	34	28	社
(江の川)		4	4	社
送水管の耐震化延長(未供用区間を含む)				
(飯梨川)	R7	6,453	5,931	m
(江の川)		6,649	6,649	m
送水管の耐震化率				
(飯梨川)	R7	31.5	29.9	%
(江の川)		90.2	90.2	%
一般管理費の縮減(H26年度決算比)				
(飯梨川)	R7	△10	-	%
(江の川)		△10	-	%

☆:毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」:取組内容、「⇒」:結果、「・」:課題

- ①施設の長寿命化**
 ○施設管理基本計画及び中期事業計画策定
 ⇒(飯梨川)平成30年3月策定
 ⇒(江の川)令和2年2月策定
○中期事業計画に基づく施設の大規模修繕・更新の計画的な実施
 ⇒(飯梨川)今年度は国の補助事業が不採択であったが、事業を実施中
 ・補助金の予算枠が十分でない
 ・事業進捗に伴う工業用水道料金上昇の懸念
- ②施設の適切な維持管理**
 ○企業局電気工作物保安規程(電気事業法に基づき定める保安基準)で規定する巡視、点検、作業の遵守
 ⇒事故、故障による給水制限はゼロ
【飯梨川】
○点検時の安全確保、管理の高度化
 ⇒ドローンの活用により、地上から視認困難な集水埋渠等の施設点検を実施
○7月豪雨による原水濁度上昇対応
 ⇒原水流入弁を適切に調整し、高濁度原水の流入を最小限に抑制
 ⇒需要家への状況連絡、送水管路での水質検査を実施し、需要家から苦情無く送水を継続
 ○ユーザーとの連絡調整
 ⇒新型コロナウイルスの影響により、飯梨川工業用水道連絡会議は資料配付により実施
 (布部ダム降水量、流入量の過去10年平均値、濁水調整、施設工事の状況、更新事業計画等)
【江の川】
○「取水場への出動基準(R1策定)」の適切な運用による動員
 ⇒8/13~15の豪雨で河川水位が上昇し出動基準に達したため、職員を速やかに取水場へ動員し、取水に支障を来すことなく運用(計20時間/2回)
- ③新規需要の開拓**
【飯梨川】
○島根県商工労働部からの企業の施設増設の情報を元に、工水利用についての意向調査を実施
 ⇒既存1社で増量見込み(数量未定)
○馬淵工業団地内の管路沿線企業を訪問し、工業用水をPR
 ⇒23社を訪問
【江の川】
 ○島根県商工労働部、江津市商工観光課等と連携し、豊富で良質な工業用水をPR
 ⇒既存1社が増量
- ④経費の縮減**
 ○TV会議システムの活用
 ⇒使用料、旅費等の経費削減

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

- ・可能な限り補助事業を活用
- ・補助制度について、予算枠の拡充や内容の見直しを国に要望
- ・継続して実施
- ・活用範囲を拡大
- ・高濁度原水が流入した際には、同様に対応
- ・継続して実施
- ・継続して実施
- ・水需要ニーズを情報収集し、新規需要を開拓
- ・継続して実施
- ・島根県商工労働部、江津市商工観光課等と連携し、用水型企業の誘致活動を継続
- ・引き続き縮減に努める



①飯梨川水管橋伸縮継手取替工事(飯梨川工水)



②ドローンによる集水埋渠点検(今津浄水場)



③取水ポンプ設備点検(江の川取水場)



④送水管路での水質検査(飯梨川工水)

水道事業

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**
 1. 水道用水の安定供給
 2. 安全で良質な水質の維持
 3. 健全経営の確保
 4. 給水量減少への対応
- 【行動計画】**
 ①施設の長寿命化
 ②施設の適切な維持管理
 ③適切な水質の検査・監視と運転管理
 ④水安全計画の策定と実践
 ⑤経費の縮減
 ⑥水道法改正への対応

【成果指標】

指標	目標と実績			
	達成年度	目標値	実績	単位
給水制限日数				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆ (斐伊川)		0	0	日
☆ (江の川)		0	0	日
水質目標値を達成しなかった日数				
浄水池濁度(0.1度以下)				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆ (斐伊川)		0	2	日
☆ (江の川)		0	0	日
浄水池色度(2.0度以下)				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆ (斐伊川)		0	2	日
☆ (江の川)		0	0	日
末端残留塩素濃度(0.1~0.5mg/L)				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	4	日
☆ (斐伊川)		0	4	日
☆ (江の川)		0	0	日
送水管の耐震化延長(未供用区間を含む)				
(飯梨川)	R7	7,598	5,048	m
(斐伊川)		89,060	89,060	m
(江の川)		15,432	15,432	m
送水管の耐震化率				
(飯梨川)	R7	53.1	35.3	%
(斐伊川)		81.8	81.8	%
(江の川)		98.0	98.0	%
一般管理費の縮減(H26決算比)				
(飯梨川)	R7	△10	-	%
(斐伊川)		△10	-	%
(江の川)		△10	-	%

※1. ☆:毎年度目標値
 ※2. 水質目標値は内部管理目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」:取組内容、「⇒」:結果、「・」:課題

- ①施設の長寿命化**
 ○施設管理基本計画及び中期事業計画策定
 ⇒(飯梨川)平成31年4月 施設管理基本計画策定、令和2年2月 中期事業計画策定
 ⇒(江の川)令和2年2月 施設管理基本計画及び中期事業計画策定
○中期事業計画に基づく施設の大規模修繕・更新の計画的な実施
 ⇒送水管路更新事業について詳細設計を実施
 ・補助金の予算枠が十分でない
- ②施設の適切な維持管理**
 ○企業局電気工作物保安規程(電気事業法に基づき定める保安基準)で規定する巡視、点検、作業の遵守
 ⇒事故、故障による給水制限はゼロ
【飯梨川】
○点検時の安全確保、管理の高度化
 ⇒ドローンの活用により、地上から視認困難な集水埋渠等の施設点検を実施
 ○農業用水利水者との取水運用調整及び管理者(安来市)との調整
 ⇒安定した取水を実現
【斐伊川】
○松江市福原町の漏水事故対策
 ⇒7月豪雨で地すべりが進行したため、本管から仮設管に送水切替
 ・地すべり対策
【江の川】
○「取水場への出勤基準(R1策定)」の適切な運用による動員
 ⇒8/13-15の豪雨で河川水位が上昇し出勤基準に達したため、職員を速やかに取水場へ動員し、取水に支障を来すことなく運用(計20時間/2回)
- ③適切な水質の検査・監視と運転管理**
○送水末端の水質(残塩、濁度、色度)監視により今後の水質変動を予測し、次亜塩素酸ナトリウムの注入量を適宜調整
【飯梨川・斐伊川】
 ⇒7.8月豪雨により原水色度が上昇したため、送水末端で適切な残塩濃度を維持するよう次亜塩素酸ナトリウム注入量を増加したことにより、目標残塩濃度0.5mg/L超過が4日発生
 ・想定外の原水色度上昇時における次亜塩素酸ナトリウム注入量と末端残塩濃度の相関関係の把握
【江の川】
 ⇒目標残塩濃度(0.1~0.5mg/L)を維持
○適切な水質管理
【斐伊川】
 ⇒7月豪雨により高濁色度原水が流入し、浄水濁度が目標値(0.1度)を超過
 ⇒浄水色度が水道法で定める基準値(5.0度)を超過
 ・再発防止策の検討
【飯梨川】
 ⇒8月豪雨により高濁色度原水が流入した際、以下の対応により浄水の濁色度を目標値以下に抑制
 (水質悪化ろ過池の貯水入替、原水濁水質ピークカット、沈砂池内濁水排水、二段ろ過方式)
【江の川】
 ⇒7.8月豪雨により高濁色度原水が流入した際、適切な凝集剤注入により濁色度を目標値以下に抑制
- ④水安全計画の策定と実践**
 ○水安全計画(平成29年度に策定)の確実な実行
 ⇒3年毎の計画見直しの実施、計画の妥当性の確認と実施状況の検証
- ⑤経費の縮減**
 ○TV会議システムの活用
 ⇒使用料、旅費等の経費削減
- ⑥水道法改正への対応**
 ○水道設備台帳の整備、活用
 ⇒施設管理台帳システム整備(令和2年度未完了)
 ○水道広域化推進プラン策定
 ⇒市町村課、薬事衛生課と連携し、シミュレーション業務を実施
 ⇒県内全水道事業体との検討会を2回開催

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

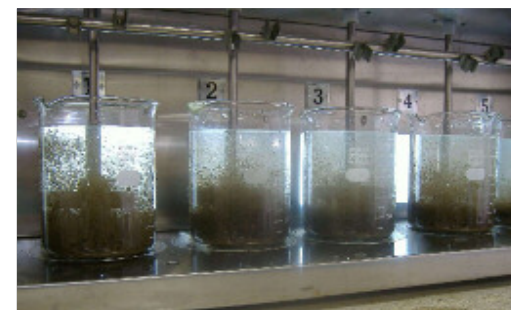
- ・可能な限り補助事業を活用
- ・補助制度について、予算枠の拡充や内容の見直しを国に要望
- ・継続して実施
- ・活用範囲を拡大
- ・継続して実施
- ・令和3年度本復旧予定
- ・地すべり対策について道路管理者(松江市)と協議
- ・継続して実施
- ・原水色度上昇時の浄水池残塩と末端残塩濃度の関係を分析
- ・継続して実施
- ・原水高濁色度時の対応マニュアルを作成
- ・遮光シート設置ろ過池は水質悪化が大きいため撤去(今後、改めて検証)
- ・高濁色度原水が流入した際には、同様に対応
- ・高濁色度原水が流入した際には、同様に対応
- ・継続して実施
- ・引き続き縮減に努める
- ・中期事業計画に基づく送水管布設替に応じた時点修正
- ・令和4年度にプラン策定



①仮設管に送水切替(斐伊川水道)



②豪雨により増水した斐伊川



③凝集剤注入率決定試験(江津浄水場)



④着水井清掃(今津浄水場)

企業局経営計画 令和3年度上期取組状況

宅地造成事業

目標・行動計画・成果指標 (P)

【目標】

1. 工業団地の分譲促進

【行動計画】

- ① 工業団地の分譲
- ② 江津地域拠点工業団地の造成検討
- ③ 進出企業との情報交換
- ④ 県・市町村共同工業団地整備事業への対応

【成果指標】

指標	目標と実績			単位
	達成年度	目標値	実績	
分譲率				
(江島)	R7	100	100.0	%
(江津地域拠点)		87	71.3	
分譲面積				
(江島)	R7	—	16,184	㎡
(江津地域拠点)		84,590	39,661	
工業団地整備面積	R7	98,464	98,464	㎡

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「O」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」: 課題

① 工業団地の分譲

〔江島〕
 ○江島工業団地(H30完売)について、地元市への緑地等移管手続の実施
 ⇒緑地と運動公園、道路及び河川の財産種別毎の分筆作業を実施中
 〔江津地域拠点〕
 ○**島根県商工労働部、江津市商工観光課等と連携した分譲促進**
 ⇒商談中3件(うち1件が新規)

② 江津地域拠点工業団地の造成検討

○**企業進出のタイミングを逸することがないよう、第二期造成事業の着実な実施**
 ⇒G区画(約3.6ha)の盛土工(沈下計測含む)が完了、公園法面修繕工事を実施(11月まで)
 ○未造成地の着手検討

③ 進出企業との情報交換

○年2回開催される団地立地企業連絡協議会(事務局:江津市)において、情報交換を実施
 ⇒1回目(6/3開催)の団地連絡協議会に出席

④ 県・市町村共同工業団地整備事業への対応

○**島根県商工労働部及び対象となる市町村と連携**
 ⇒事業公募に1市が応募(11月の審査会において、分譲単価が高く不採択)

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

・継続して実施(令和3年度中に移管予定)

・**引き続き分譲促進に努める**

・**令和3年度完了予定**

・**継続して検討**

・継続して実施



江津地域拠点工業団地



現況: 令和3年11月

企業局経営計画 令和3年度上期取組状況

個別的取組①

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**
- 危機管理体制の強化
 - 技術力の継承と人材の育成
 - 県民理解の促進
 - 地域社会への貢献
- 【行動計画】**
- ①危機管理体制の強化
 - ②技術力の継承
 - ③人材育成の取組
 - ④わかりやすい情報発信
 - ⑤施設見学・出前講座の充実
 - ⑥施設周辺地域への対応
 - ⑦森づくり事業の実施
 - ⑧地域活動への参加

【成果指標】

指標	目標と実績			
	達成年度	目標値	実績	単位
危機管理訓練の回数				
☆	毎年度	8	6	回
業務に係る技術資格の取得数				
	R7	累計 80	21 (126)	件
ホームページアクセス数				
☆	毎年度	15,000	20,761	件
施設見学・出前講座の参加者数				
☆	毎年度	1,600	492	人
森づくり事業(植栽)箇所数				
☆	毎年度	5	2	箇所
地域活動への参加件数				
☆	毎年度	18	8	件

☆: 毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」: 課題

- ①危機管理体制の強化**
 ○危機管理訓練の早期実施
 ⇒(合同)4/22ダム管理演習、6/14合同危機管理訓練
 ⇒(東部)6/22斐伊川水道福原仮設管切替訓練、6/23三成ダム操作訓練
 ⇒(西部)6/10取水場オイルフェンス設置訓練、6/28河川高濁度対応訓練
○7月豪雨による三代浄水場水質異常の検証
 ⇒8/31局内検証会、9/21受水団体(松江市、出雲市、雲南市、斐川水道水道企業団)との検証会を開催
○災害時の連携強化
 ⇒7月豪雨により被災した雲南市に給水車1台及び職員3名を派遣して給水応援を実施
- ②技術力の継承**
○保安のスマート化
 ⇒ドローン操縦者の育成(7名)
 ・設備の保守点検等はベテラン職員の経験に依存しており、経験に依らない点検方法(IoT技術やドローン、AI等の新技術を用いたもの)の確立及び技術継承
○電気工作物保安規程に定める教育(保安研修)の実施
 ⇒中国電気保安協会の講師による電気設備点検講習の受講
- ③人材育成の取組**
○業務に関する技術資格の取得
 ⇒危険物取扱者甲種1、ドローン操縦者講習7、刈払機安全衛生教育1、低圧電気特別教育2、KYKトレーナー研修1、フルハーネス型安全帯特別教育8、第3級陸上特殊無線技士養成課程1
 ○その他研修等の実施
 ⇒新任者研修(4/21)、公営企業会計システム研修(7/29)、NOMA地方公営企業の消費税研修(8/30、31)、新任者企業会計オンデマンド研修(9/3~10/3)、R2決算状況説明(9/10)
- ④わかりやすい情報発信**
 ○企業局通信発刊
 ⇒第5号(6月)を発刊し、県内市町、取引企業及び商工関係団体等へ送付
○新聞広報
 ⇒山陰中央新報「週刊さんいん学聞(まなぶん)」へ3回掲載
 (5/26:企業局の概要、7/28:風力・太陽光発電、9/29:水力発電)
○SNS(Facebook、Twitter)の運用
 ⇒上期の投稿件数:73件
 ⇒さんいん学聞掲載日前後に該当施設の関連投稿を増やして閲覧を促すなど、メディアミックスを考慮

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

- ・継続して実施
- ・高濁色度対応マニュアルの作成
- ・継続して実施
- ・継続して実施
- ・継続して実施
- ・継続して実施
- ・継続して実施
- ・継続して実施(年度内に計6回掲載予定)
- ・継続して実施



①合同危機管理訓練(西部事務所)



②給水応援(7/16 雲南市三刀屋町)



③電気設備点検講習(TV会議)



④週刊さんいん学聞(9/29)

企業局経営計画 令和3年度上期取組状況

個別的取組②

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**
- 危機管理体制の強化
 - 技術力の継承と人材の育成
 - 県民理解の促進
 - 地域社会への貢献
- 【行動計画】**
- ①危機管理体制の強化
 - ②技術力の継承
 - ③人材育成の取組
 - ④わかりやすい情報発信
 - ⑤施設見学・出前講座の充実
 - ⑥施設周辺地域への対応
 - ⑦森づくり事業の実施
 - ⑧地域活動への参加

【成果指標】

指 標	目標と実績			
	達成年度	目標値	実績	単位
危機管理訓練の回数				
☆	毎年度	8	6	回
業務に関係する技術資格の取得数				
☆	R7	累計 80	21 (126)	件
ホームページアクセス数				
☆	毎年度	15,000	20,761	件
施設見学・出前講座の参加者数				
☆	毎年度	1,600	492	人
森づくり事業(植栽)箇所数				
☆	毎年度	5	2	箇所
地域活動への参加件数				
☆	毎年度	18	8	件

☆: 毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「O」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」課題

- ⑤施設見学・出前講座の充実
O施設見学・出前講座
 ⇒新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止のため、令和2年2月末から施設見学、出前講座、再生可能エネルギーツアーを休止していたが、令和2年6月から感染防止対策を講じながら施設見学と出前講座等の一部を再開
 ⇒東部事務所では感染防止策として、小学校で出前講座を実施後、浄水場で見学のみを実施
 ⇒西部事務所の江津浄水場見学及び再エネツアーは休止を継続中
 ⇒西部事務所は小学校へ教材貸出: 3校

令和3年度上期 施設見学等実績

(単位: 人)

	大人	子供	計
施設見学	31	243	274
出前講座	0	218	218
再エネツアー	0	0	0
合 計	31	461	492

- ⑥施設周辺地域への対応
 (大規模な工事を行う際、地元関係者に理解と協力を得る)
O水力発電所リニューアル工事において、工事の説明を実施
 ⇒工事完了のチラシを配布(飯梨川第一発電所)
 ⇒工事進捗状況のチラシを配布(三隅川発電所)

- ⑦森づくり事業の実施
 O NPO法人等に委託して実施
 ⇒4/29 安来市広瀬町(クヌギ250本): 広瀬町ふるさと川の浄化実行委員会
 6/2 吉賀町蓼野(桜120本): NPO法人コアラッチ

- ⑧地域活動への参加
 O 河川等周辺清掃、公共施設周辺清掃等
 ⇒東部(6/2飯梨川河川清掃25名、9/1飯梨川河川清掃22名、9/10-11さくらおろち湖清掃5名)
 西部(7/21江津工業団地クリーン作戦18名、4/6交通安全街頭活動1名、4/10パトラン1名、9/23パトラン3名、9/28江津ドライブスキルアップ大会3名)

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

・引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら施設見学・出前講座を実施

・再エネツアー及び江津浄水場の見学再開は、感染状況等を見ながら判断する

・引き続き丁寧な説明を実施

・事業の着実な実施

・継続して実施



①施設見学(今津浄水場)



②出前講座(斐伊川水道)



③森づくり事業(吉賀町)



④江津工業団地クリーン作戦